

# 特集 「議会改革特別委員会」

特別委員会では、初めに委員会の活動原則を確認した後、会議の進め方について話し合い、検討項目の洗い出しを行いました。

次に、4月下旬から5月上旬にかけて、全議員に「十和田市議会のあるべき姿」「検討すべき項目」について調査しました。〈提出された主な事案は次のとおり〉

## 回収した調査から

### 〈十和田市議会のあるべき姿〉

- ・情報の公開と共有の積極的な実施  
(インターネット中継への取り組み、政務調査費・常任委員会研修の公開、議会報告会の開催検討)
- ・市民参加のあり方の再考  
(傍聴者を多くする努力、市民の意識調査実施、陳情者・請願者の声にもっと耳を傾けるべき)

### 〈検討すべき項目〉

- ・一般質問時に一問一答方式を採用
- ・委員会審議の充実(議案も常任委員会に付託して審議)
- ・議会だよりの充実
- ・議員倫理規定の制定
- ・政務調査費の見直し

※全45項目

「十和田市議会のあるべき姿」は、イメージとして共有化を図る作業を継続しつつ、「検討すべき項目」は45項目に分類・整理し、今後個別に審査します。

## 今後の取り組み

今後、さらに検討を進めていくこととなりますが、必ずしも実施すべきとならないものも出てくると思います。その場合でも、なぜ実施できないか等の理由、その議論を明らかにして、より身近に感じられる十和田市議会を目指していきます。

## 八戸市議会を視察

第6回委員会でインターネット中継、会議録検索システムを審査するに当たり、既に導入している八戸市の調査視察をしました。また、あわせて、当市議会が本会議中心主義(全議員で構成する議会の会議で審議、表決を行う議会運営方法)であるのに対し、全国の市議会では主流となっている委員会中心主義(原則として委員会の審査、調査を経た後、その結果をもとに、本会議で審議、表決を行う議会運営方法)を採用している例も伺ってきました。

### ×× 平成19年6月からインターネット中継開始 ××

八戸市議会では早くから庁舎内での放映に取り組んでおり、カメラ等の設備が充実していました。さらにケーブルテレビ局の申し入れによる生中継及び録画放送も行っていたことからインターネット中継にもスムーズに取り組めたとのことでした。また、会議録検索システムの導入により、会議録が身近に感じられると市民はもちろん、議員・市職員からも好評を得ていたとのことでした。これらのシステムは経費的な面で十分検討が必要ではあるが、大変充実していることを目で見て感じることができました。

八戸市と当市の議会運営で大きく異なる部分は委員会審議の充実だと考えられます。八戸市ではほとんどの議案を所管する委員会へ付託し審議しているとのこと。議場での議論が少なくなるとの懸念もありますが、大変参考となりました。



八戸市議会を視察

## ○ 議会改革特別委員会の審査経過 ○

第1回3月17日	特別委員会設置、委員選任(正副委員長互選)	第6回7月19日	八戸市議会視察
第2回4月20日	委員会の基本事項確認・今後の進め方		(1)インターネット中継、会議録システム
第3回5月26日	議会改革に関する調査の概要 進行予定、検討スケジュール(案) 市民を交えての勉強会等		(2)委員会審議
第4回6月16日	議会のあるべき姿の方向性 検討項目の分類・会議の進め方・次回の検討項目	第7回8月11日	検討項目② (インターネット中継・会議録・ 一部事務組合の報告)
第5回6月29日	検討項目① (インターネット中継・会議録・一部事務組合の報告)		次回の検討項目について